

自然言語処理入門

岸山 健 (31-187002)

Jan. 7, 2018

課題

構造の解析に誤りがある例としては以下を挙げる．母語話者の直観としては「(誰かの) 妻が理事長かつ社長であり、そして彼女は事業に成功した」という意味になるはずだが、どの翻訳でも “President’s wife” となる．これは「X の A」が “X’s A” と翻訳されるために思える．試しに「社長の男」としても “President’s man” となる．

- 理事長にして社長の妻が事業に成功した．
- President’s wife made it the chief director, and succeeded in business.

他方、訳語の選択や慣用句の扱いが不適切な例には以下の日英の対応が挙げられる．下の例では「流行、話題になる」を意味する新語、「バズる」の翻訳に失敗する．また日本の話なので、「1 億」は「一億円」を意味するが、通貨の情報を拾えていない（もっとも、拾えというのも酷な話である）．余談だが、「ケーキに目がない」のような表現は Google 翻訳だと失敗するが、エキサイト翻訳だと上手く翻訳されていた．

- ZOZO の社長が 1 億をばらまいてバズった．
- A president of ZOZO scatters 100,000,000, and, buzz TTA.

最後に個人的に好きな例として、「構造の解析は正しいし、訳語の選択なども適切なものにもかかわらず、構造的に酷い埋め込みになる例」を挙げる．人間が訳す場合、恐らく文を複数に分けるか表現を変えるなどの処理をするはずである．

- 警察が追っている犯人が殺した政治家が生き返った．
- The politician the criminal the police is following killed has revived.